

# 久留米の自然



2006年4月1日

第92号

ウツギ ユキノシタ科

*Deutzia crenata* Sieb. et Zucc

撮影場所

久留米市高良内町花の谷

撮影時期

2004年5月

撮影者

安西 妙子

## ウツギ

橋田 沙弓

ウツギはウノハナとも呼ばれ、小学唱歌「夏は来ぬ」にも歌われてなじみふかい木で「万葉集」にはウノハナを詠んだ和歌が24首もあるという。ウノハナの起こりは旧暦4月の卯月にさくためとか、ウツギの花のつまったものが、また豆腐のおからに似ているとか。枝が成長すると、その中心部にある髓が消失して中空になる木が「空木」(うつぎ)であるという。今では“ウノハナの垣根”も少ない。

ウツギは高さ2mほどの落葉低木で、よく分枝します。樹皮は灰褐色で、古くなるとはがれ落ちます。その年に伸びてた新しい枝は赤みを帯びています。葉は長さ5~10cmの卵形で対生します。花序は円錐状で枝先につき、多数の白色の花をつけます。花弁は長さ1cmで、雄しべは10本です。子房上位で3~4本の糸状の柱頭があります。果実は椀状の朔果で、長さ2mmほどの小さい種子ができます。

手にとり、ウツギの葉やがく、果実をくわしく見ると、星状に枝分かれした毛があることに気づきます。これを星状毛といいます。ウツギ属の植物は体のどこかにこの毛があります。

ウツギの属の学名は日本の最初の植物誌を表したスウェーデンの植物学者ツンベルクにより命名されました。ウツギ属は約50種あり、ほとんど東アジアからヒマラヤに至る地域に分布し、4種のみがメキシコに隔離分布します。

日本にはヒメウツギ、マルバウツギ、ウメウツギ、オオシマウツギ、ウラジロウツギ、ヤエヤマウツギ、バイカウツギ等の7種があります。

この他にバイカウツギは岩手県以南の本州、四国、九州の山地に生え、初夏に開花します。バイカウツギ属は約70種あり、北半球の温帯に分布し、日本にはバイカウツギ一種です。

## 楠に思う

古賀 幸雄

**御神木** 宇美八幡宮の楠の巨木群には圧倒されるが、市内の神社・寺院に大木が多い。私の町の鎮守日吉神社にもイチヒガシの大木群とならんで神木とされる1本の大楠がある。少年時代、あちこちでできた木コブをたよりにある高さまで上ったが、70年後の今はその成長は著しく、ひたすら御神木として仰ぐばかりである。境内の楠を神の「ヨリシロ」とし、巨木は天然記念物として指定されているのは各地に多い。

**楠の香り** 戦前の歴史で、南北朝対立の戦乱期に南朝方として一族が尽した楠木氏の忠節は、水戸黄門が賞賛し、香りも高く後世に伝えられた。『広辞苑』では楠樹は芳香を有するとあるが、楠氏と同じく、滅してもなお香り高いものである。というのは20数年前、絵のある大きな古い扁額を家の長押(なげし)に合わせるため額縁を切った時、強烈な心よい香りに接した。材質も重たく、楠が使用されていると知り、伐られて長年月経てもなお身の香りを留めるこの木の生命力に深く感じ入ったことがある。

**楠の自生の限界** 旧久留米藩士が明治維新後、士族授産のため遠い福島県郡山に移住し、原野開墾したことは今日よく知られる。最後まで開墾地に残った数10戸の人たちがあちらで「久留米」をつくり、戦後、故郷の当地と交流を始めている。彼らを案内して太宰府天満宮に行った時、みなが喜んだのは日に映える若楠葉の美しさであった。聞けば福島県には楠は無いとの事。恥ずかしながら私も新たな知識を得た。なるほどそう言えば木と南と合体して楠の字はできている。暖い地方にしか自生しないわけである。漢字の面白さである。楠のある日本の北限を調べていないが、朝鮮半島には無いそうである。済州島にいくらかあるが大木になり得ないという。

**古代朝鮮へ楠輸出、見返りに鉄を** 2月20日の朝日新聞に「クスノキ交易説」の見出しでこの事が記されている。韓国慶尚南道の古墳群の中の1基に埋葬された王者の木棺は、長さ3.3m、幅0.8m、高さ40cm、重さ258kgの楠材による制作との事が判明したという。発見された地方は当時加耶(かや)という小さな国で6世紀頃日本との関係は深かった。この発見を機に調査した教授がこれまでの古墳出土品の木材を分析して見ると、百済・新羅いずれも朝鮮半島に無い楠や高野槇だったという。これらは日本から求めたものであろうが、代わりに当時日本にまだ無くて最も欲しがられる鉄が送られたろうという。香りのよい、虫が付きにくく耐用性の長い楠は木棺に何よりの材であるが、今日残る飛鳥・白鳳時代(7~8世紀)の木製仏像はほとんど楠でできているという。しかしこれは日本独自のものでなく、中国の南朝での使用が朝鮮に伝わり、これを手本に日本も楠で作ったものとの説が記される。

**自衛隊の楠木並** 25m幅の環状道路開通で、消滅を心配されるこの楠木群は、明治30年に歩兵48連隊が設営されたとき、周りの堤防に、国分町の大地主で連隊敷地をもちかなり所有していた真藤家が苗木600本を寄付して植えたものという。今は正面左右に10数本が並木状に残るのみだが、私の子供の頃、48連隊の裏手に第一戦車連隊があり、その間に豊前~薩摩街道が通っていたが、この道添いに48連隊側にも楠木立があったのを記憶している。現自衛隊はこの街道を隊内に取り込み、両連隊敷地を連ねて設営されている。楠苗木が植えられた頃は、今の自衛隊正面の大半は畑地で、以後敗戦までの50年間、思うがままに繁茂して見事な景観を呈してした。その後家並が出来、苦情を寄せられ、ほとんど樹幹のみの葉の無い哀れな姿に伐られたが、ずっと後にはかなり復活した。市内に珍しい100年を経た楠の並木。残してこそ「ほとめき久留米」宣言が生きよう。



香月徳男氏が平成18年2月22日79歳で亡くなりました。奥様から直接お知らせを頂きました。

### 香月徳男さんを喪って

橋田 沙弓

お見舞いに行き二週間後、香月さんの訃報を聞き、あまりの早い知らせにびっくりしました。山本町の千光寺の近くに25年前に引っ越してきました。このあたりで知っているのは永勝寺でした。久留米の自然を守る会で春の野草を愉しむ会の会場が永勝寺で行なわれていたのです。

香月さんには奥様と一緒にこの25年間の間にいろいろ何かにつけてお世話になりました。

はじめの仕事は朝倉町の三連水車の保存運動でした。三連水車の図面を引き、水車大工の妹川さんを讃え、その保存のために朝倉町への働きかけや三連水車のビデオ作成など思いついたことは夢を語り、平成2年国史跡指定のために奔走し実現されました。その後浮羽町の平川家住宅・国重要文化財指定、とくに山本町のハゼ並木保存のためにはハゼシンポジウムを緑化流通センターで開催されました。ハゼノキに直接のいやがらせや痛めつけが強く、並木保存運動には抵抗が強かったようです。しかし、香月さんはハゼ並木の移植や測量、11月23日を中心ハゼ祭りは年々盛大になりました。30有余年の水車保存活動にも貢献し、日本水車協会会長を歴任、平成14年には西日本文化賞を受賞されました。穏やかで多くの方々から尊敬と信頼を集め「香爐亭」の挽きたてのコーヒーの香りは忘れられません。

### 生き物に魅せられて

春の楽しみの巻 松永 紀代子

毎年春に筑紫野のある場所にでかける。竹林の間の急な坂をのぼったところに、小さな祠があり、伏流水の出口にもなっている。そこから上は、人が踏み込めないような藪になっており、この場所だけが暗闇にぽっかりと開いた空間になっている。

木々の上の方ではざわざわと音がするが、祠のそばは静かで暖かい。水音と虫たちの羽音に時折キビタキやヤブサメの声が重なる。シャガの花が咲きそろい、地面で給水するトラフシジミやルリシジミ。葉上で休むエメラルドグリーンのカワトンボ。そして小さなカゲロウたちが光の中で舞う。

昨年の4月には、トンボのM先生とやってきた。この日はムカシトンボのペアが2組、膝丈を横切っていった。今年はどんな命に会えるだろう。春の楽しみの一つである。

### ひととき 動物笑話 その37 ミーアキャットのイナバウアー

トリノオリンピックのフィギュアスケートで金メダルを獲得した荒川静香選手のイナバウアーが一躍有名になった。ガセネタで謝罪する民主党議員の姿は逆イナバウアーと比喻されたり、北米のハコガメが後脚で立って首を後ろに反らすびっくりネタも紹介された。これに対し、「我々もよくするが、ほとんど失敗ね」とミーアキャット。何の事はない。彼らは巣穴近くの盛土の上で後脚で立って警戒するのだが、反り返って背後の敵に注意するのではなく、他人に警戒まかせでウトウトして後ろにひっくり返り、キャットと驚く何ともおそまつかつあきれた行動である。

\*ジャコウネコ科に属し、体長は約30cmで、体色は灰褐色で背面に褐色のしま模様。水辺を好み、ネズミを補食する。アフリカ南部に分布。(Y. Y)

## 例 会 報 告

## 第328回例会

## 2006年度総会記念講話「江戸のたび」

講師：山口淳氏（本会会員）

河内 俊英

江戸時代には多くの庶民にとって、生まれた場所から遠くに行くことは許されないことと思うヒトが多いと思います。しかし江戸も後期になると実際には、「お伊勢参り」などで自分のお金がなくても長い旅に行けることがわかりました。久留米からだと急いでも片道15日以上、物見遊山なら往復で2ヶ月はかけて行ってくるのだそうです。伊勢講でお金を出し合って、当った人が全員の代参も含め2~3人で「お伊勢参り」をしたようです。有名な「ヤジさんキタさん十返舎一九の東海道中膝栗毛」も「お伊勢参り」の道中です。1人で行かせると「酒と女と博打」などの悪い誘惑でスッテンテンになる恐れもあり、相互監視の意味もあったようです。

「お伊勢参り」に関しては、当時の旅行代理店の役割をする御師（おし）が全国ネットワークを持っていて、「民衆の信仰心をあおり」御札や曆などを配りながら伊勢の宣伝をしたそうです。御師は旅行の斡旋と旅館業者のような働きをして案内役もやっていたそうです。幕府は勝手に旅をすることを禁止していたが、お伊勢参りだけは許可した。このお参りの行き帰りに、熱心な農民では各地を回りながら、優良な作物の種子などを持ち帰る、また技術を学ぶ人もいたと言われています。女性も結構「お伊勢参り」をしていたようです



## 金丸川の浚渫事業

野口 勝司

金丸川と湯の尻川の合流点（市内津福本町北西部）付近の河川拡張工事は6-7年前終了したが、以前は川幅（3m-4m）程度のものが3倍近くに拡張され木の杭の枠造りがコンクリート石垣造りに改造されて、魚貝類の生活環境が崩壊し、洪水時と渇水時との水量、流速の変化大きく過去6-7年間の堆積土が流速に大きなブレーキとなり堆積土の累積を増大させる結果となった。

かねがね地元の清田県議に依頼相談はしていたが、昨年（2005年）の11月29日現地を視察案内し問題の箇所を指摘、土木事務所への連絡を頼み、その日に現地に来た事務所の係官3人にくわしく浚渫の急務を説明した。

浚渫工事 1月中旬数日で作業が終わり検査も済んで、農繁期にも灌漑用の水が利用できるようになったので、懸案の一つが適い、まず一息ついたところである。

金丸川と湯の尻川の合流点



浚渫前



浚渫後

**2006年度 久留米の自然を守る会 総会**

〔日時〕2006年1月14日(土) 14:00~14:50 〔場所〕久留米市役所 3階305会議室

**2006年度 総会** 司会 河内俊英

1. 開会挨拶 会長 橋田沙弓 2. 議長選出 副会長 河内俊英

## 3. 議題

- (1) 2005年度 活動報告 事務局 金原優子 (2) 2005年度 会計報告 会計 福田万里子  
 (3) 2005年度 会計監査報告 会計監査 野口勝司  
 (4) 役員選出案

①会長 橋田沙弓 ②副会長 米田豊・河内俊英・国分謙一

③事務局長 金原優子 ④会計 福田万里子

⑤会報編集 橋田沙弓・丸山由紀子

⑥幹事 山川英毅・今村由子・丸山由紀子・福田万里子・角正博

⑦会計監査 野口勝司・高山美子 ⑧名誉顧問 古賀幸雄・丹部竹志・森田公造

- (5) 2006年度 活動計画 事務局 金原優子 (6) 2006年度 予算 会計 福田万里子

- (7) その他の活動状況

●1月30日 市民活動支援助成金事業結果報告 環境教育読本「ひとつの川から見えるもの」

●6月1日 四季の森づくり事業竣工記念式典参加

●ホームページ作成 4月~

## 4. 閉会挨拶

副会長 河内俊英

**2005年度 活動報告**

## (1) 活動

☆環境教育読本「ひとつの川から見えるもの」作成事業

## (2) 例会・協賛イベント

NO.	例会数	月 日	例会名	会 場	担 当	人数
1	317回	1月15日(土)	総会 18:00~新年会	久留米市役所 308号「魚よし」	金原・福田・山川・米田・ 橋田・角	25
			講演会「高良川の今昔PART 1」講師 角正博氏	久留米市役所 308号	角・米田・橋田・金原・ 福田・丸山	25
2	318回	2月12日(土)	史跡と自然探訪 講師 古賀正美氏	浦山公園前 上津土塁	国分・角・橋田	18
3	319回	3月27日(日)	春の野草を愉しむ会(菓草料理)	永勝寺	橋田・福田・丸山	20
		3月26日(土)	事前採集会	香月方前集合	国分・橋田	11
4	320回	4月22日(火)	4月29日の事前調査	高良内竹の子 コース後半	橋田・黒岩・杉田	3
		4月29日(祭)	高良山樹木の名札付け	高良内竹の子 コース後半	橋田・河内・国分・角	16
5	321回	5月15日(日)	高良山バードウィーク探鳥会 とネイチャーゲーム	高良山四季の 森	米田・松富士・山川	27
6	322回	6月26日(日)	きのこと自然探訪 講師 金子周平氏	高良台松葉諏 訪池	丸山・橋田・角・米田	19
7	323回	7月24日(日)	水辺の自然観察会 講師 橋本哲男氏	百年公園横高 良川くるめウ ス	米田・橋田・山川・河内・ 国分・金原・丸山	12
8	324回	9月10日(土)	観月会 講師 吉田哲麿氏 講師 熊谷美代子氏	久留米大学御 井学舎学生会 館	国分・金原・今村・福田・ 丸山	16
9	325回	10月16日(日)	ネイチャーゲームと自然観察 会	高良山四季の 森	米田・国分・丸山・山川・ 角	8
10	326回	11月13日(日)	高良山四季の森バードウォッ チングウィーク探鳥会	高良山四季の 森	米田・松富士・橋田・角・ 山川	27
11	327回	12月4日(日)	冬の自然観察会と豚汁会	高良山四季の 森	雨天中止	0
12	協賛	5月5日(祭)	木のおもちや作り	鳥類センター 久留米百年公 園	松富士・重本・橋田・亀 井	200
		6月5日(日)				100
13	協賛	6月18日(土)	ホテルのタベ	高良内校区公 民館	河内・国分・橋田	27
14	協賛	11月23日(祭)	高良山緑のハイキング	高良山・兜山	橋田・米田・山川・国分	400

15	協賛	6月10日～12日 6月11日(土)	第19回筑後川フェスティバル ・高良川親子自然観察会 ・筑後川の生き物たち	筑後川発見館 クルメウス ・高良川さくら 橋下 ・筑後川発見館 クルメウス	橋田・森田・国分・山川 松富士	45 45
16	協賛	6月11日～12日	第21回水郷水都全国会議	久留米大学御 井学舎	河内・橋田・福田	400

## (3) 会報

	(発行日)	(ページ)	(表紙)	(文)	(写真)
①	88号4月1日	8ページ	ウグイス	米田豊	橋本哲男
②	89年7月1日	8ページ	オキチモズク	高山美子	高山美子
③	90号10月1日	8ページ	橋本千拓	松富士将和	松富士将和
④	91号1月1日	8ページ	櫨の木と土堀小屋	山口 淳	市政久留米より引用

## (4) 会員状況(2006. 1. 1現在)(2005年1. 1. 会員数85名)

①会員数88名 ②新入会者8名 ③退会者5名

## . 2006年度 活動方針

①環境教育読本作成～出版刊行(5月中頃)、A4の大きさ。カラー写真多数。

②親しみやすい例会と案内の工夫を毎回努力する。

③高良山自然歩道の植物名札の件(名札作成2001年～) ④野生動植物の調査研究を続ける

⑤カスミサンショウウオの産卵場所保護対策⑥2006年4月からHPで春夏秋冬の野鳥3種紹介

## II. 2006年度 活動計画

NO.	例会数	月日	例会名	会 場	担 当
1	328回	1月14日(土)	総会 14:00 (新年会) 18:00	久留米市役所 3F305 食彩館「山咲」やまさき	金原・福田・国分・
			講演会講師山口淳氏 15:00 「江戸のたび」	久留米市役所 3F305	米田・河内・橋田・ 今村・丸山
2	329回	2月11日(土)	探訪「高良川今昔PART2」 講師 角正博氏	高良内竹の子バス停～	角・橋田・三牧
3	330回	3月25日(土)	事前採集会・事前準備	香月徳男方前	橋田・国分・古賀・ 三牧
		3月26日(日)	春の野草を愉しむ会(薬草料理) 自然観察と調理と設営	筑後川発見館横・筑後川河 川敷	福田・今村 金原・米田・河内
4	331回	4月29日(祭)	事前調査	かぶと山周辺	橋田・黒岩・杉田
			高良山植物名札付けとだご汁会	かぶと山キャンプ場	河内・橋田・国分・ 角
5	332回	5月14日(日)	高良山バードウィーク探鳥会	高良山・四季の森	米田・丸山・橋田・ 山川・松富士
6	333回	6月10日(日)	ホテルの夕べ	高良内校区公民館	河内・今村・橋田・ 国分
7	334回	6月25日(日)	きのこと自然探訪ときのご汁会 講師 金子周平氏	高良台松葉諏訪池周辺 個人宅	河内・丸山・橋田・ 角・米田・国分
8	335回	7月23日(日)	水辺の自然観察会	筑後川発見館前・河川敷	米田・河内・橋田・ 山川
9	336回	9月30日(土)	観月会 天体観測・お茶・イベント	筑後川発見館横	河内・米田・金原・ 今村・福田・国分・ 山川
10	337回	10月15日(日)	ネイチャーゲームと自然観察会	高良山・四季の森	米田・角・丸山・ 橋田・国分
11	338回	11月12日(日)	バードウォッチングウィーク探鳥 会	高良山・四季の森	米田・松富士・橋 田・山川・角
12	339回	12月3日(日)	冬の自然観察会とだご汁会	高良山・四季の森	橋田・米田・丸山・ 国分
13	協賛	5月5日 6月4日	木のおもちゃ作り	鳥類センター・百年公園	松富士・重本・橋 田
14	協賛	11月23日(祭)	高良山緑のハイキング	かぶと山キャンプ場	橋田・米田・山川・ 国分・重本
15	協賛	5月27日 28日	第20回筑後川フェスティバル in 大川	大川市(佐賀県も含む)	橋田

## 久留米の自然を守る会

2005年度決算書(2005年12月31日)

* 収入		
1、前期繰越	(現金855円貯金350,004円)	350,859円
2、実収入		332,178円
①会費	(現金68,000振込み98,000)	166,000
	‘02年分(1人)	2,000
	‘03年分(3人)	6,000
	‘04年分(6人)	12,000
	‘05年分(67人)	134,000
	‘06年分	12,000
②例会行事参加費		30,200
③カンパ・雑収入		135,978
収入合計		683,037円
* 支出		
1、会報作成		160,200円
	#87号(‘05.4.1) 33,900(フタバプリント)	
	#88号(‘05.7.1) 48,000(プリンティングコガ増刷分)	
	#89号(‘05.10.1) 42,300(プリンティングコガ)	
	#90号(‘06.1.1.) 36,000(プリンティングコガ)	
2、通信費		24,020円
3、印刷・コピー		6,220円
4、文房具		13,260円
5、事務局・幹事会など		18,585円
6、慶弔費		12,646円
7、行事費		33,116円
支出合計		268,047円
* 残高		
1、現金		27,971円
2、貯金(利子15円を含む)		387,019円
残高合計(次期繰り越し)		414,990円

上記の通り相違ありません。

2006年1月10日 野口勝司 印 高山美子 印

## 2006年度予算

*収入		
1、前年度繰越		414,990円
2、会費(80人×2,000)		160,000円
3、例会参加費		30,000円
4、カンパ		95,010円
収入合計		700,000円
*支出		
1、会報作成(4×@36,000)		144,000円
2、通信費		35,000円
3、印刷・コピー代		6,000円
4、文房具		9,000円
5、事務局・幹事会		20,000円
6、行事費		40,000円
7、予備費		446,000円
支出合計		700,000円

## 寺尾谷の最終処分場で事故が発生

福田 万里子

昨春湧き水の豊かな寺尾谷に、処分場の第1期工事が完了して焼却灰が埋め立てられていましたが、焼却灰の搬入開始から一年も経たない昨年11月、底に敷いた汚水漏出監視機能付き遮水シートが一部破損したり、シートの検査中に高濃度の不純物を含む3~4ℓもの濁水が検出されていました。市はこれを公表せず、埋め立てた焼却灰を2~3mも掘り返し、こっそり点検していたのですが市民の見張り活動で発覚、大騒ぎとなりました。

市の3月議会では3人の市議がこれを追及しました。市は相変わらず“万全の監視体制で臨んでいる、原因は究明中”と繰り返しました。市の内部規定では事故が有っても監視委員会にさえ“原因が分かり、修理が済んでから報告すればよい”となっていた事も判明して、何のための監視委員会かと委員長もカンカンです。市民には全て公開するべきで、事故が隠されればかえって行政への不信感は募るばかりです。

汚水もれは今後何回起きてもおかしくないのに汚水漏出監視シートが機能するのは1回きりですし、場内の監視用井戸に異常が現れてもその時に下流の水質汚染を防ぐ手段は何もありません。私はこれまでの勉強で近年の少子化問題も焼却灰と無関係ではないと思っています。この処分場が壊れる前に一日も早く、ダイオキシンなどを無害化する技術の開発を祈るばかりですが、せめて、ここに入れる焼却灰を減らすために官民が力をあわせて“ゼロウェイスト(ごみゼロ)”に取り組みなくてはならないと思っています。



埋立地第11区画のむき出しになった遮水シート

## 《行事案内》

### 第331回例会:

#### 樹木の名札付けとだご汁会

みなさんと樹木の名札を付けてみませんか。小雨決行 20名募集

[日 時]: 18年4月29日(みどりの日・土)

[集合・解散]: 御井小学校前9時半~14時半

[場所]: かぶと山キャンプ場入口

[参加費]: 300円(幼児無料)

### 第332回例会:バードウィーク探鳥会

高良山四季の森として新しく整備された後谷コースや環境保全林の新緑の中で、オオルリやキビタキなどの美しいさえずりや姿を楽しみませんか。野鳥と人に出会いたい気持ち歓迎。

[日 時]: 18年5月14日(日)雨天中止

[集合・解散]:

高良内幼稚園駐車場9時~14時半

[交通]: 西鉄バス高良内・竹の子行きで、終点竹の子バス停下車、徒歩1分

[持物]: 弁当、水筒、筆記用具、あれば双眼鏡

[参加費]: 100円(中学生以下無料)

[共催]: 日本野鳥の会筑後支部、久留米市農政部農林課、県甘木農林事務所

### 第333回例会:ホタルの夕べ

[日 時]: 18年6月10日(土)雨天中止

[場所]: 高良内校区公民館19時~20時

[現地]: 高良川上流・寺尾谷入口

### 第334回例会:きのこと自然探訪

きのこと自然探訪、きのこ汁会を行います。指導は金子周平先生(県森林林業センター)

[日 時]: 18年6月25日(日)小雨決行

[集合・解散]: 上津小学校運動場横9時

14時半現地解散。

[持物]: 筆記用具、長袖、長ズボン、長靴

[参加費]: 300円

## 《事務局だより》

やっぱり破れましたねえ、埋立地の防水シート(詳しくは今号7ページ)。裁判で鉛筆でもぷすぷす穴が開くと危険性を指摘されていたシートを「絶対大丈夫だから住民で監視すれば」と言っていたんですよ。それなのにコソコソ調べていて見つかったら開き直る、耐震構造偽造よりひどいです。水源の汚染はジワジワと後から出てきて元に戻すことはできないし、命の水を危険にさらされた私たち住民には逃げ出すこともできない。当初「市外のゴミは受け付けない」と言っていたけど、その「市内」が合併で大きくなって..そこまで見越してのことだったのか「行政は何とでも出来る」と痛感するばかりです。

ホームページを案内します。

「久留米の自然を守る会」ホームページ  
<http://www.geocities.jp/kurumenosizen/>

1. 会員消息 退会 大津留皆子 谷村喬  
 古賀章子(久留米市)

### 2. 会費納入について

会費は、会の活動を支える源です。まだ、会費を納入していない人は振替用紙(口座番号01750-1-40114)に年会費2000円をご確認のうえ納入をお願いします。

### 3. 原稿募集

次号93号は平成18年7月1日発行予定です。原稿の〆切は6月1日です。皆さんの原稿をお待ちします。

### 4. 幹事会のご案内

幹事会(定例)は原則として毎月第1水曜日の19:00~21:00まで、西町教育集会所で行います。皆さんも気軽にご参加下さい。(4月5日、5月10日、6月7日、7月5日予定)

久留米の自然

平成18年4月1日 第92号

発行 久留米の自然を守る会

発行者 橋田沙弓

事務局 〒839-0851

久留米市御井町1595-9 金原優子方

TEL・FAX 0942-44-1942

印刷(有)プリンティング コガ

TEL 0944-88-0027 FAX 0944-88-0029